

副院長就任ご挨拶

もっと、リハビリテーション  
もっと、琵琶湖中央病院

私は、昭和57年に関西医科大学を卒業後、同大学整形外科に入局し、関西医科大学本院、付属香里病院の助手としてリウマチ学、関節外科、脊椎、手の外科、腫瘍、リハビリテーション、病理を研修し、平成元年から5年間大阪赤十字病院整形外科に勤務していました。平成6年から健康保険滋賀病院（現JCHO滋賀病院）整形外科に部長として赴任、23年間勤務し平成29年5月末に退職。6月からは琵琶湖中央病院にお世話になることになりました。滋賀病院着任時は、ちょうど病院新築へと移行する時で、設備も充実しており大学より早く顕微鏡視下脊椎手術を始め、当時産婦人科があり、エコーでの新生児検診を行っていました。人工関節に加え股・膝関節に対して骨切り術、大阪日赤でよく行われたイリザロフ創外固定器を駆使し難治例に対処してきました。

慌ただしく日々は過ぎていきましたが、滋賀に来て私にとって幸いだったのは、日本カヌー連盟所属の日本体育協会スポーツドクターになったことです。ほとんど活動がないところに、大学教養部の恩師岡本教授と再会し、琵琶湖での大学カヌー競技を手伝うことになり、全日本のカヌー選手も診る機会も増え、いろいろ経験することができました。その後加圧トレーニングと出会い、リハビリの筋力トレーニングの一環として始めたところ、カヌー以外のさまざまなスポーツ競技選手が受診するようになり、一般診療終了後に夜中まで加圧トレーニング指導をしてきました。そのノウハウを整形外科リハビリ治療にも応用してきました。私も50歳ころまでは、筋力トレーニングし、大学テニス部の現役にも負けないくらい元気でしたが、体力の限界を感じ始めたころ古武術（身体操作法）、ヨガ等にのめりこ

みました。筋力トレーニング中心から、少し筋力をアップし、より効率の良い運動動作を重視するように考え方が変わってきました。この療法は、高齢者にも役に立つと確信したところに琵琶湖中央病院に赴任しました。

本院は、回復期リハビリ病院ですが、入院してこられた患者さんを回復というよりは、再生工場としてより元気になる地域包括治療に役に立つようなリハビリを目指したいと考えています。また、2024年滋賀国体を見据え、スポーツ選手を対象に競技力向上できるよう、夕方からの空きを利用してリハビリ室をトレーニングセンターにする準備を進めているところです。今後ともよろしくご協力のほどお願いします。

副院長 坂井田 稔

《資格等》

滋賀医科大学臨床教授

日本整形外科学会専門医

日本リハビリテーション医学会専門医

日本リウマチ学会専門医

日本体育協会スポーツドクター

（日本カヌー連盟所属）

日本オリンピック委員会強化スタッフ

加圧トレーニングインストラクター 等

在宅療養を支える

仲間のための勉強会

日時：7/21（金）14：00～（受付13：30）

D棟5階

地域研修センターにて

研修内容：

「住環境における転倒リスクについて」

☆リハビリ療法部による発表

☆グループディスカッション

皆様のご参加お待ちしております。

《お問い合わせ》

琵琶湖中央病院 地域連携部 國賀・佐々木

TEL 077-526-2144 FAX 077-526-2200

